

タウト、
柳宗悦、
ペリアン、
今和次郎らは、
何を見ようとしたのか



東北への まなざし 1930 1945

EYES ON TOHOKU

2022.4.9^{Sat} - 5.15^{Sun}

開館時間 | 9:30 - 18:00 (入館は17:30まで) 休館日 | 月曜日 (5月2日は開館)
 (一般) 前売 800円 (当日 1,000円) (高校生・学生) 前売 500円 (当日 600円)
 (小学生・中学生) 前売 300円 (当日 400円)

*当日券の販売は当館のみです。 *当日券をお買い求めの際は、次の割引があります。・20名以上の団体は前売料金と同額
 ・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示の方、およびその付き添いの方1名は半額 *若手県子育て応援
 パスポートによる割引があります。 *学生の方は学生証または生徒手帳をご提示ください。 *企画展観覧券でコレクション
 展もご覧いただけます (4月26日(火) - 4月28日(木)は展示替えのためコレクション展はご覧いただけません。)

(前売券販売所)・若手県立美術館、若手県民会館 指定プレイガイド <カワトク/アネックスカワトク/フェザン/イ
 トーヨーカード・花巻店/東山堂書店/さわや書店本店/江釣子SC/丸/いわて生協 (一部店舗を除く)/若手県庁生協/Cyg art
 gallery/ローソン (Lコード: 21915) /セブン-イレブン (セブンコード 093-180) > *販売は4月8日(金)まで

岩手県立美術館 IWATE MUSEUM OF ART

主催 岩手県立美術館、公益財団法人岩手県文化振興事業団、日本経済新聞社
 後援 一般社団法人若手県芸術文化協会、若手県商工会議所連合会、若手日報社、
 若手日新聞社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 若手放送、テレビ若手、
 めんこいテレビ、若手朝日テレビ、エフエム若手、ラジオ・もりおか、若手ケーブ
 ルテレビジョン、情報紙ゆうゆう
 特別協力 日本民藝館

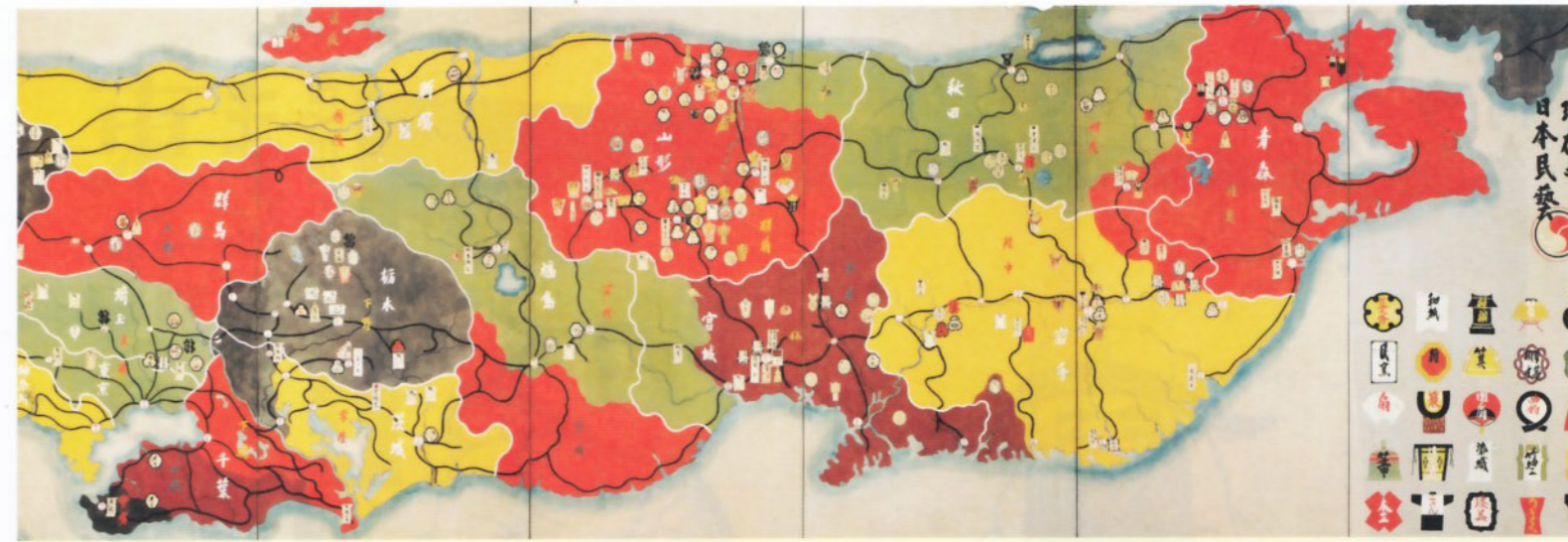


fig.1

満州事変に始まる混乱が太平洋戦争へと拡大していった1930年代から1945年にかけての日本は、一方で、昭和モダンとよばれた都市文化が爛熟し、視覚文化や生活様式が急激な変化を遂げた時代でもありました。

この頃、先端的な意識を持った人々が相前後して東北地方を訪れ、その土地の建築や生活用品に注目し、これらを書き留め、蒐集し、あるいは展示を行っています。ナチス政権発足の1933年に来日した建築家ブルーノ・タウト、1926年に日本民藝美術館設立趣意書を掲げて民藝運動を展開した柳宗悦、1940年に商工省に招聘されたシャルロット・ペリアンなどは、その一例です。

また、素朴なこけしや郷土玩具への関心も昭和に入って飛躍的に高まり、東北地方の郷土玩具を蒐集、紹介した武井武雄や米浪庄次郎らの活動も、民藝運動に近接する動きとして特筆されます。さらには、「考現学」の祖として知られる今和次郎や『青森県画譜』を描いた弟の今純三、東北生活美術研究会を主導した画家の吉井忠などの東北出身者たちも、故郷の人々と暮らしを見つめ直し、貴重な戦中期の記録を残しています。

本展は、東北に向けられた彼らの複層的な「眼」を通して、当時、後進的な周縁とみなされてきた東北地方が、実は豊饒なる文化の揺籃であり、そこに内包される営みの力が現在と地続きであることを、改めて検証します。

EVENT

各イベントは定員100名、先着順です。

講演会

①「柳宗悦 東北を想う」

講師: 杉山享司氏 [日本民藝館学芸部長]
 日時: 2022年4月10日(日) 14:00-15:30 場所: ホール

②「東北で見出されたものづくりの知恵と21世紀の暮らし」

講師: 黒石いずみ氏 [青山学院大学総合文化政策学部客員教授]
 日時: 2022年4月23日(土) 14:00-15:30 場所: ホール

*参加ご希望の方は当日直接ホールにお越しください。参加は無料です。

ギャラリートーク

日時: 2022年4月15日(金)、4月29日(金・祝)、5月13日(金)
 各日14:00-(30分程度) 場所: ホール

*参加ご希望の方は本展観覧券または半券をお持ちの上、当日直接ホールにお越しください。

アート・シネマ上映会 (映像提供: 山形県新庄市 雪の里情報館)

日時: 2022年4月24日(日) 場所: ホール
 「雪国」(1939年/38分) 14:00-
 「記録映像〈鉄道省の実験、雪調の伝習他〉」
 (撮影年不明/40分) 15:00-
 *鑑賞ご希望の方は当日直接ホールにお越しください。鑑賞は無料です。

展覧会会期中は、レストラン「パティオ」にて特別メニューをお楽しみいただけます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本展および関連のイベントを変更または中止することがありますので、ご理解のほどお願いいたします。当館ウェブサイトやSNSにて最新の情報をご確認ください。

岩手県立美術館ではSNSで展覧会・イベント情報を発信中!

@IMA_info iwatemuseumofart.jp

岩手県立美術館の管理運営は公益財団法人岩手県文化振興事業団が行っています

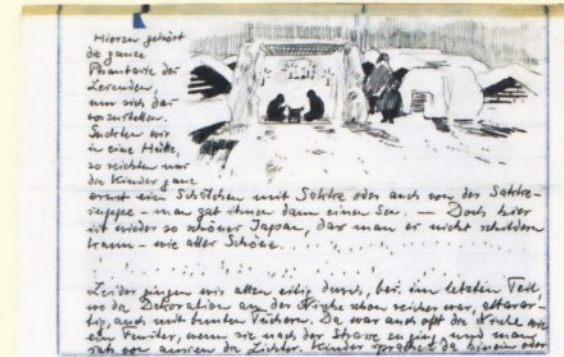


fig.2



fig.4

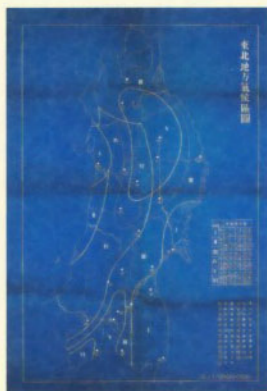


fig.3



fig.5



fig.1 芥沢結介『日本民藝地図(現在之日本民藝)』(部分)1941年日本民藝館、fig.2 ブルーノ・タウトの日記(部分)1933年 若波書店(早稲田大学図書館寄託)、fig.3 今和次郎、竹内芳太郎(財)同慶会-東北調査委員会(東北地方気候区図(1:1,000,000))1940年 工学院大学図書館、fig.4 (山形県庄内)『青中当(ばんどり)』1939年 日本民藝館、fig.5 こけし(南部系)1910年代~1941年 源郷のこけし群 吉田記念館
 表裏 今和次郎(若手県御明神村の農夫)1938年 工学院大学図書館

交通案内▶盛岡駅東口から・若手県交通バス盛岡ループ200乗車、「岩手県美術館前」下車
 ▶盛岡駅西口から・徒歩20分・タクシーで5分

岩手県立美術館
 IWATE MUSEUM OF ART
 〒020-0866 岩手県盛岡市本宮松尾 12-3
 12-3 MATSUHABA, MOTOMIYA
 MORIOKA, IWATE, 020-0866 JAPAN
 Phone.019-658-1711 Fax.019-658-1712
 http://www.ima.or.jp
 E-mail:info@ima.or.jp